



フィリピンミンダナオ島、避難所の子供たちとAMDА医療チーム(AMDА提供)

～おもいやり 地球市民の パスポート～

特集

SPECIAL EDITION

AMDА
アムダ

岡山市に本部を置くAMDАとおかやまコープが2007年10月に協定を結んで、5周年。東日本大震災ではおかやまコープと協力して緊急支援を行いました。息の長い支援のためにAMDАを知り、私たちにもできる国際協力を広げていきましょう。あなたの小さな一歩は世界へつながっています。



菅波 茂 代表

国際医療支援ボランティア団体AMDАの菅波代表にお話を伺いました。岡山から全国へ、世界各地へ「支援」が届けられています。

「5年間で、心に残っていることは？」

東日本大震災です。この時は、おかやまコープの底力をみました。生協の強みは、全国的な組織力を持っていてのこと。そして、主婦の目線で生活に必要な物資を送ったことです。スタッフ用の食料1000食も提供してくれました。ありがたかったです。



「AMDА健康サポートセンター」開設のきっかけは？

地震翌日、仙台の若葉地区に入りまして。9月15日に福島第一原発の事故がおきたため、若い人を帰らせて、残りの人は北へ行きました。同行者に釜石市出身の医師と、大槌町出身のナースが加わりました。釜石市から大槌町に入り、弓道場で診察をしました。地元大槌町出身のナースがいたことで、信頼関係を築くことができました。よそのものは、なかなか

入っていけません。やはり、これも「縁」でしょうか。それが、開設につながりました。

「大切にされていることは？」

エネルギーが湧き上がる喜びを共に作っていくことが心の癒しになります。緊急支援は悲しみの共有、復興支援は喜びの共有です。昨年、被災地中学のサッカー部員を岡山に招待して試合をしたり、大槌高校の吹奏楽部とコンサートを開いたりしましたよね。同世代交流や被災地間交流のように、人が集う機会を作ることが必要です。援助を受ける側にもフレンドがある。支援のやり方も違います。必要な時に「こちらこそ」ありがたうと言えること、人に喜んでくれることを喜びとすること。次の活動につながる活動、明日の財産になるような活動が必要です。



サッカー交流 (2011年8月4日)

「緊急支援が印象的ですが、普段は何を？」

ネットワークの強化をしています。災害に備えて、人、お金などをうまく動かせるように準備しています。時代は常に変わっているので、何をしたらいいかという、コンセプト作りが大事です。託されたお金を有意義に使わないといけません。

「これからについて。」

被災地復興には10年ばかりかかります。被災した人にとって、一番怖いのは「見放されること」です。あなたたちを見放さない、喜びのメッセージを発し続ける活動をしたいです。

「ありがとうございます。先生が大事にしている、いつも使っている言葉です。これからもAMDАの活動に期待します。」



絆コンサート (2012年3月19日)

救える命があればどこへでも

AMDАは海外で大災害が起ると、すぐに緊急医療支援を開始します。

1984年、岡山市に設立。紛争難民や災害被災者に対して保健・医療を中心とした緊急支援、復興支援を続けています。世界30ヶ国に支部を持ち、そのネットワークで多国籍医師団を結成し、「困ったときはお互い様」という相互扶助の精神に基づいて国際人道支援活動を実施しています。

AMDА人道支援3原則

- 1 誰でも他人の役に立ちたい気持ちがある
- 2 この気持ちの前には、国境、民族、宗教、文化等の壁はない
- 3 支援を受ける側にもフレンドがある

手を取り合って5周年

おかやまコープとAMDАは、岡山発国際貢献の推進を目指して、協定書を締結し、お互いの協働を確認しています。

AMDАとおかやまコープとの3つの共通点

- 1 喜んでいただくことを最大の喜びにしていること
- 2 困ったときはお互い様という気持ちがあること
- 3 岡山発の国際貢献活動であること



協定書

来年3月に5周年記念行事を予定しています。

なでして便り

昨年4月に募集した「がんばろう!東北ハートフルメッセージ」は、1300枚を超え、なでしこの種を添えて、被災地に送られました。AMDАを通して届けられた大槌町では「なでしこの日」まで設けて大事に育ててくださっています。



AMDА大槌クラブの皆さんから



なでしこ満開のAMDА健康サポートセンター(2012年6月末)

東日本大震災

被災された方の心身のケアを行う「AMDА健康サポートセンター」を、大槌町に開設し、おかやまコープからは、看板や掛け時計、ビデオメッセージを贈りました。なでしこは、大槌町とおかやまコープをつなぐ「絆」の役割を果たしてくれています。

10月はAMDА募金月間

- 毎年10月はAMDА募金月間です。2011年は、4,201,125円の募金が集まりました。寄せられた募金は、「おかやまコープAMDА基金」とし、緊急支援活動などに使われます。
- AMDАが緊急支援活動を行う場合、スタッフが現地へ移動する費用や医薬品などを調達する費用として使われます。
- 宅配、店舗での募金活動に、ご協力よろしくお願ひします。

募金しましょう!!

期間:10月1日~10月31日



店舗では年間を通して受付けています。

(写真は昨年のもので)

OCR注文書やふれんずでも受け付けます。

私たちの募金が使われています

- 2007年 新潟県中越沖地震50万円
ペルー沖地震 など130万円
- 2008年 中国四川地震 など300万円
(AMDА提供)
- 2009年 インドネシア・スマトラ沖地震 など400万円
(AMDА提供)
- 2010年 ハイチ地震 など300万円
ザンビアプロジェクト100万円
- 2011年 フィリピンミンダナオ島洪水 など250万円
東日本大震災126万円
緊急支援物資 など
- 2012年 AMDА健康サポート51万円
センター など
バングラディッシュ洪水50万円